7　芸術（美術）

学校番号	４１７

平成３１年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年で学んだことを基に更に発展させていきます。
・クロッキーは授業の始めに毎回していきます。1 枚ずつはそんなに変わらなくても、一年続ければきっと何か成長があるとおもいます。毎回真剣に取り組んでください。
・3 学期の自画像は、ただきれいに描くのでなく、内面に踏み込んで「今の自分」を表現してください。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	創作を楽しもう	【鑑賞】【絵画・彫刻】【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞しながら、これから一年間で学ぶことについて、学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子
	デッサン	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・円柱の木片をモチーフとし、デッサンする。 ・立体的に表現するためパースを理解する。 ・陰影の付け方を工夫する。 ・木の質感の表現。 ・班でお互いの作品を鑑賞。	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:モチーフを正確に描くことに関心を持ち、主体的に取り組む。 b:表現形式の特性を生かし、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:鉛筆の濃淡や線の重なりなどの表現方法を工夫して、表現している。 d:他の生徒の作品について意見交流し、それぞれの作品の良さを自分の価値意識を持って感じ取る。	ワークシート 学習活動の様子 制作の様子 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

1学期	石の張子	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・本物そっくりに紙で石をつくるイメージをつかむ。 ・和紙をちぎり筆と水を使って石に張っていき、ボンドを薄めたもので固める。 ・カッターで切り開き、中の石を取り出してから張り合わせる。 ・実物の石を観察しながらアクリル絵の具で着色する。 ・班でお互いの作品を鑑賞する。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:自然の石の色や形に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d: 他の生徒の作品について意見交流し、それぞれの作品の良さを自分の価値意識を持って感じ取る。よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
2学期	木彫時計	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ ・木の板に鉛筆でしたがきをして、彫刻したり糸鋸で形を変える。 ・ムーブメントを取り付ける穴をドリルで開ける。 ・紙やすりで下地を整える。 ・アクリル絵の具で着色する。 ・ムーブメントを取り付ける ・班でお互いの作品を鑑賞する。 ・	○ ○ ○	○	○ ○	○	a: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b: 目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 c: 目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d: 他の生徒の作品について意見交流し、それぞれの作品の良さを自分の価値意識を持って感じ取る。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

3学期	自画像	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・内面にまで迫る表現を目指す。 ・顔にも骨格や筋肉があることを理解する。 ・鉛筆でしたがきの後、アクリル絵の具で制作。 ・絵の具を盛り上げたり、タッチを工夫する。 ・陰影の付け方や表情、バックの処理で印象が変わることを理解する。 ・班でお互いの作品を鑑賞する。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	a:自分自身というモチーフに関心を持ち、多様な表現方法に主体的に取り組む。 b:表現形式の特性を生かし、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:絵の具のマチエールやタッチなどの表現方法を工夫して、主題に合った表現をしている。 d:他の生徒の作品について意見交流し、それぞれの作品の良さを自分の価値意識を持って感じ取る。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。